

令和8年度観光危機管理対策事業
 (災害時観光客一時待機所設置・運営訓練及びマニュアル作成等)
 委託業務に係る御質問への回答について

No.	企画提案仕様書の項目	質問内容	回答
1	一時避難所対象施設について	仕様書では図上訓練会場として「沖縄空手会館又は沖縄県立武道館等の県有施設」とありますが、本業務で作成するマニュアルは、特定の施設を対象としたものを想定しているのか、今後他の県有施設にも展開可能な汎用的なマニュアルを想定しているのか、ご教示ください。	本事業で作成するマニュアル(案)は、展開可能な汎用的なマニュアルを想定しております。
2	令和7年度に整理された候補施設の現地確認状況	令和7年度報告書では複数の県有施設等が候補として整理されていますが、これらについて、施設管理者との協議、収容可能人数、電源・給排水・トイレ・バス乗降等の現地確認は、令和7年度までにどの程度実施されていますか。	候補施設(沖縄空手会館、県立武道館等)について、収容可能人数や設備状況等は把握済です。 施設管理者(沖縄県)との詳細な協議やバス乗降等に特化した現地確認については、今後順次実施する予定です。
3	関係機関との既存の調整・合意内容	令和7年度報告書では、県、CAB、NABCO、市町村、バス協会等による調整が必要とされていますが、現時点で各関係機関との間で合意済みの事項、または継続協議となっている事項があればご教示ください。	現時点で合意済み又は継続協議事項はありません。
4	関係機関との既存の調整・合意内容	令和7年度報告書では、県、CAB、NABCO、市町村、バス協会等による調整が必要とされていますが、現時点で各関係機関との間で合意済みの事項、または継続協議となっている事項があればご教示ください。	No.3の質問と同内容のため、回答はNo.3を御参照ください。
5	約14万人の県内滞留観光客の取扱い	訓練シナリオでは「那覇空港内約7,000人、県内約14万人の滞留者」を想定するとされていますが、県内約14万人の滞在先・移動・帰宅支援について、本業務では県全体のオペレーションまで検討対象とするのか、一時待機所に流入する観光客の動きのみを対象とするのか、ご教示ください。	一時待機所に受け入れる観光客を対象とする運営側の動きを想定しております。
6	実演デモに関する予算範囲	段ボールベッド、間仕切り、備蓄品サンプル等について、「手配、搬入、設営、撤収、運搬の一切」を受託者が行うこととされていますが、資機材は購入・レンタルのいずれも可能でしょうか。また、既に県や市町村が所有・借用可能な資機材がある場合は使用可能でしょうか。	資機材は購入・レンタルのいずれも可能ですが、購入の場合は、訓練後に県へ引き渡しが必要となります。 なお、段ボールベッド及び間仕切りは、2～3セット程度の手配をお願いしたいと考えております。 備蓄品サンプル等について、訓練参加人数分の飲料水(500mlペットボトル)は、県から提供可能です。